



東北化学薬品株式会社

東北化学薬品株式会社

2004年9月期中間決算説明会

平成16年6月8日

Chemical industrial medicine

Clinical examination reagent

Food

Agricultural materials

説明者

代表取締役社長 東 康夫





Chemical industrial medicine



Clinical examination reagent



Food



Agricultural materials

東北化学薬品の事業内容及び 経営戦略について

第一部



会社概要

社名	東北化学薬品株式会社
本社	青森県弘前市大字神田1-3-1
代表者	代表取締役社長 東 康夫
設立	昭和28年2月
資本金	7億5,370万円
従業員	205名（平成15年9月期）
売上高	17,343百万円（平成15年9月期）
事業内容	化学工業薬品・関連機器 臨床検査試薬・関連機器 食品添加物・加工機器 農業資材・関連機器
連結子会社	あすなる理研株式会社 東北システム株式会社



会社沿革

昭和28年2月	青森県弘前市北瓦ヶ町で化学工業薬品の販売を目的として東北化学薬品株式会社を設立
昭和29年8月	毒物劇物一般販売業の許可取得することにより、一般の化学工業薬品の他に毒物劇物の化学工業薬品の販売を開始
昭和30年6月	医薬品卸売一般販売業の許可取得することにより、医薬品の販売を開始
昭和51年9月	高圧ガス販売事業の許可取得することにより、高圧ガスの販売を開始
昭和58年6月	化学工業薬品の製造をおこなうことを目的として、100%子会社の東奥科研(株)(現 あすなる理研(株)(現 連結子会社))を設立
昭和63年8月	ソフトウェアの開発やパソコンの販売を目的として、子会社の東北システム(株)(現 連結子会社)を設立
平成元年3月	自社所有の土地・建物の管理を目的として、100%子会社の(株)東化地所を設立
平成4年10月	100%子会社(株)東化地所と合併
平成7年 6月	日本証券業協会に株式を店頭登録
平成14年1月	秋田支店においてISO14001の認証取得を受ける
平成15年1月	本社においてISO14001の認証取得を受ける
平成15年7月	岩手県盛岡市に生命システム情報研究所を開設

マクロ環境

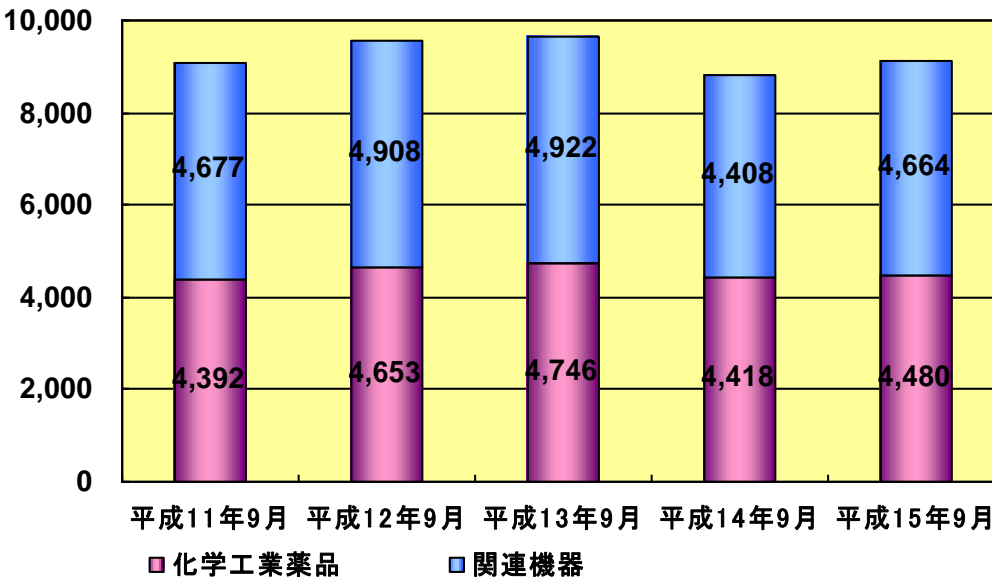
- 情報関連業界の好調
- 国立大学の独立行政化

主要品目

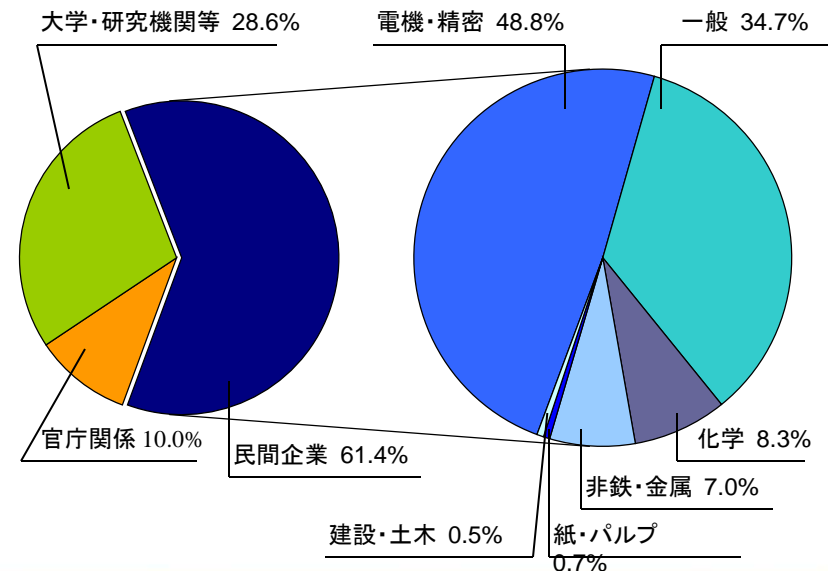
化学工業薬品	ソーダ工業薬品・有機薬品・無機薬品・半導体薬品・合成樹脂機能薬品・防疫用殺虫剤・ワクチン等
化学工業薬品関連機器	分析機器・教育機器・計測機器・公害防止機器・工作機器等

化学工業薬品部門売上高推移

(単位:百万円)



顧客業種別売上高内訳



マクロ環境

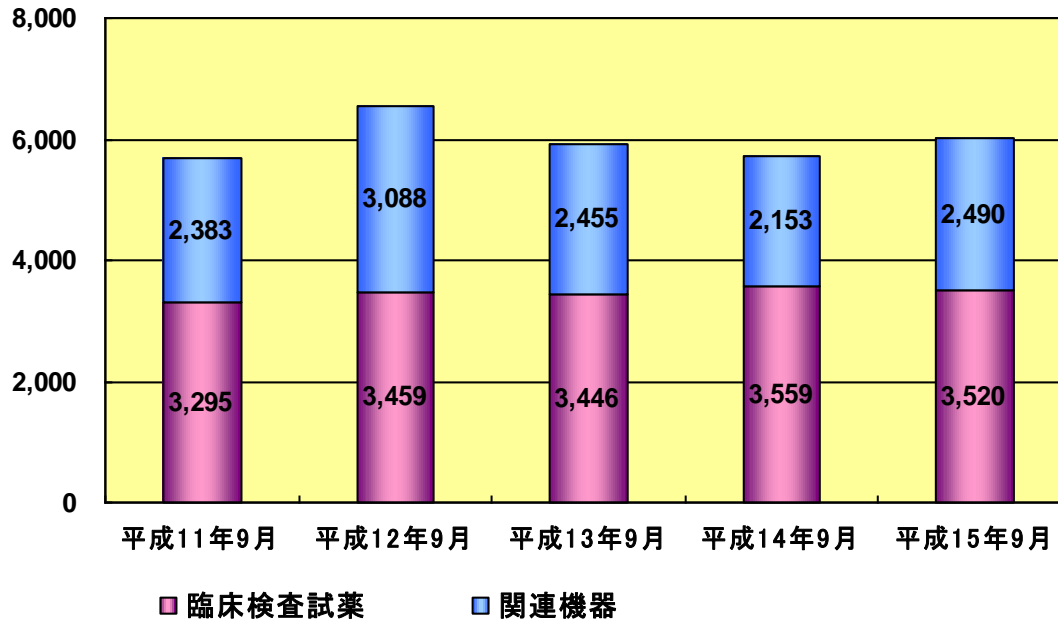
- 診療報酬改正
- 国立病院、大学病院の独立行政化

主要品目

臨床検査試薬	一般検査用試薬・血液学的検査用試薬・生化学的検査用試薬・内分泌学的検査用試薬・免疫血清学的検査用試薬・細菌学的検査用試薬等
臨床検査試薬関連機器	医療機器・検体検査機器・医療用消耗品・専用消耗品・検査消耗品・医用衛生材料等

臨床検査試薬部門売上高推移

(単位:百万円)



マクロ環境

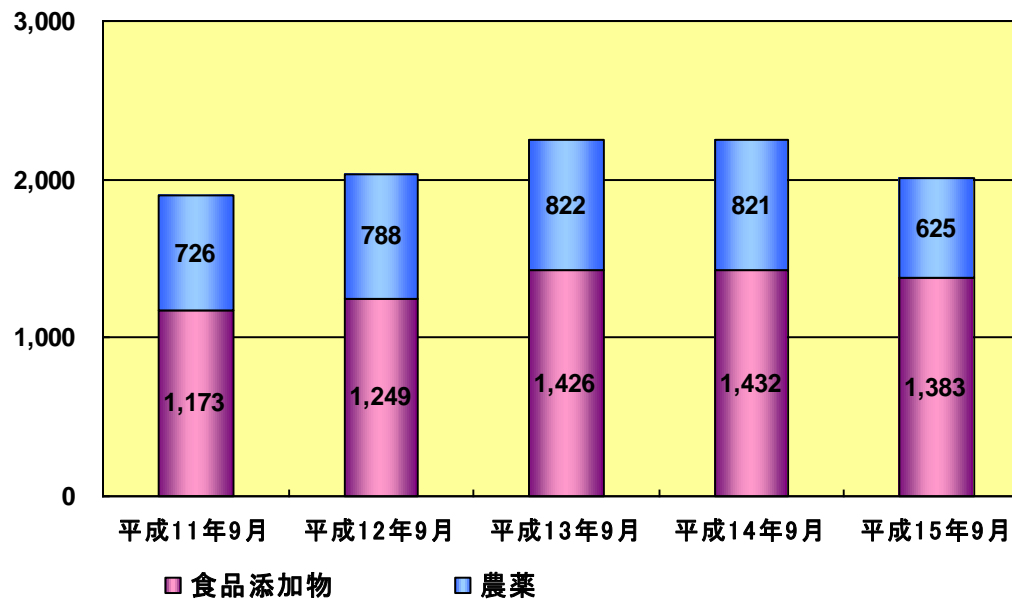
- 食品加工品・リンゴ加工品の消費減少傾向
- 農薬需要の停滞傾向
(作付面積、減農薬傾向)

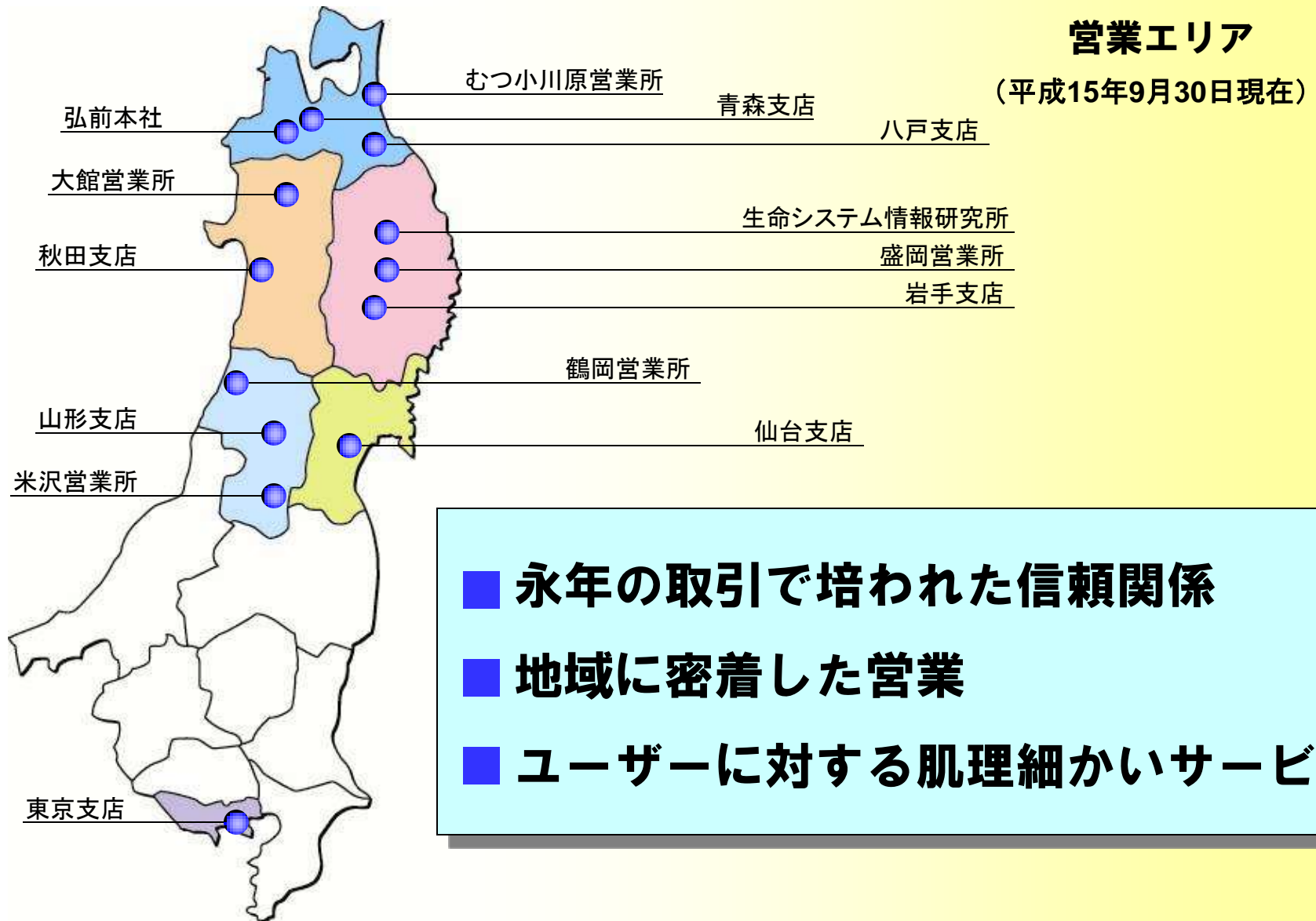
主要品目

食品添加物・同関連機器	食品添加物・食品・食品加工機器等
農薬・同関連機器	農薬・土壌改良資材・種苗・園芸資材・肥料・農産物等

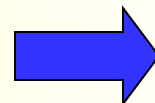
(単位:百万円)

その他部門売上高推移





- 高度な先端技術
- 特殊な取扱商品
- 特殊な物流形態

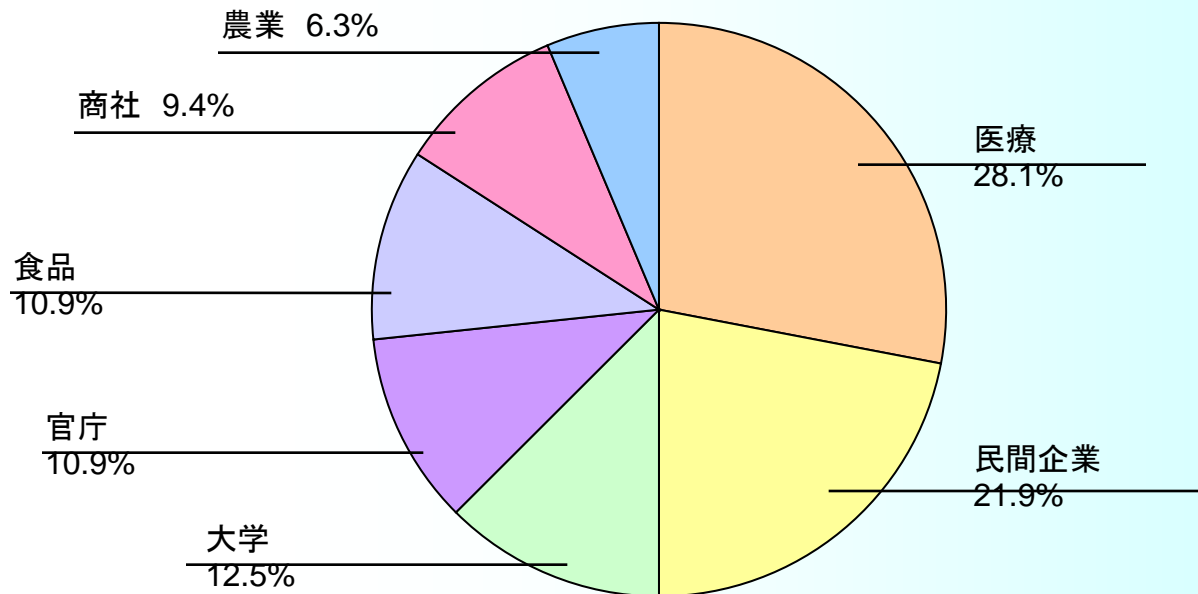


参入障壁



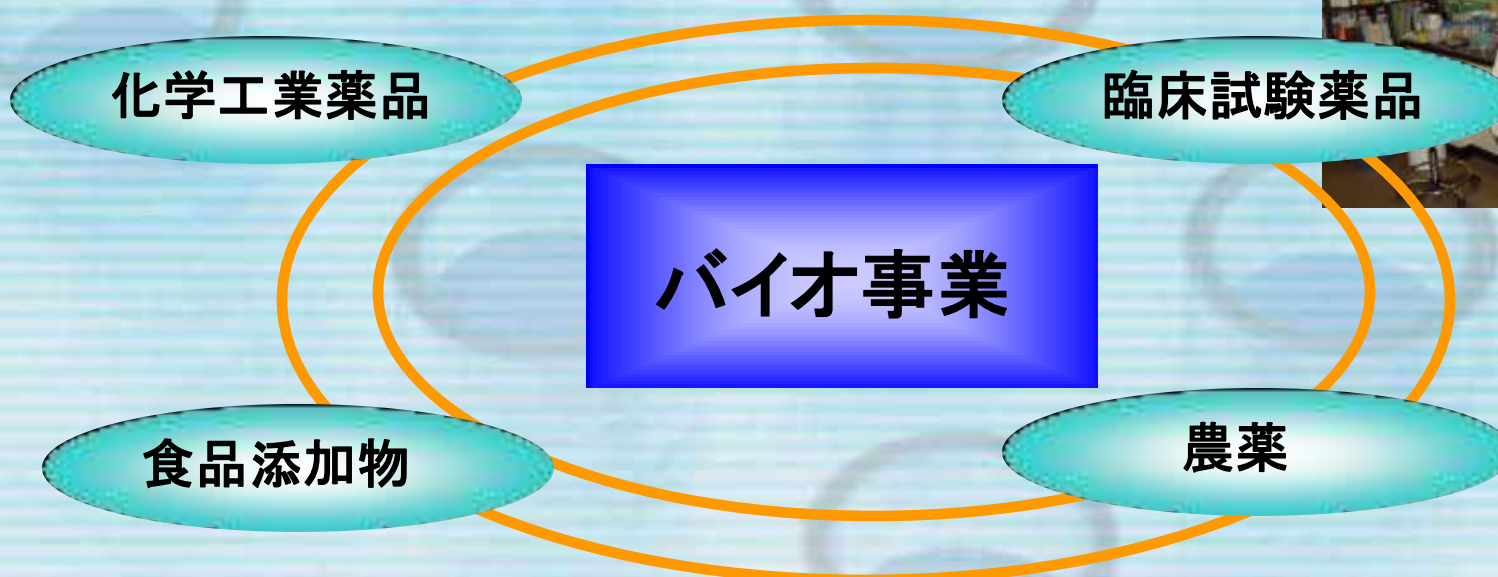
- 高度化・多様化するユーザーニーズ
- 顧客数：6,400口座

取引先の業種別内訳



化学工業薬品及び臨床試験薬品に次ぐ第三の柱

生命システム情報研究所



生命システム情報研究所概要

- 設立 平成15年7月
- 所在地 岩手県盛岡市永井25-69-3
- 所長 小岩 弘之 (学術博士)
- 従業員 8名 (研究員7名、事務員1名)
- 目的
- (1) 当社のバイオ系営業活動支援
 - (2) バイオ系及び医薬医療系における遺伝子発現解析
 - (3) バイオ系学術情報収集、先端バイオ学術セミナー企画、新規アイデア等の提言
 - (4) 産学連携バイオ共同研究等における対応と推進



ユーザー



産学連携学術セミナー



生命システム情報研究所

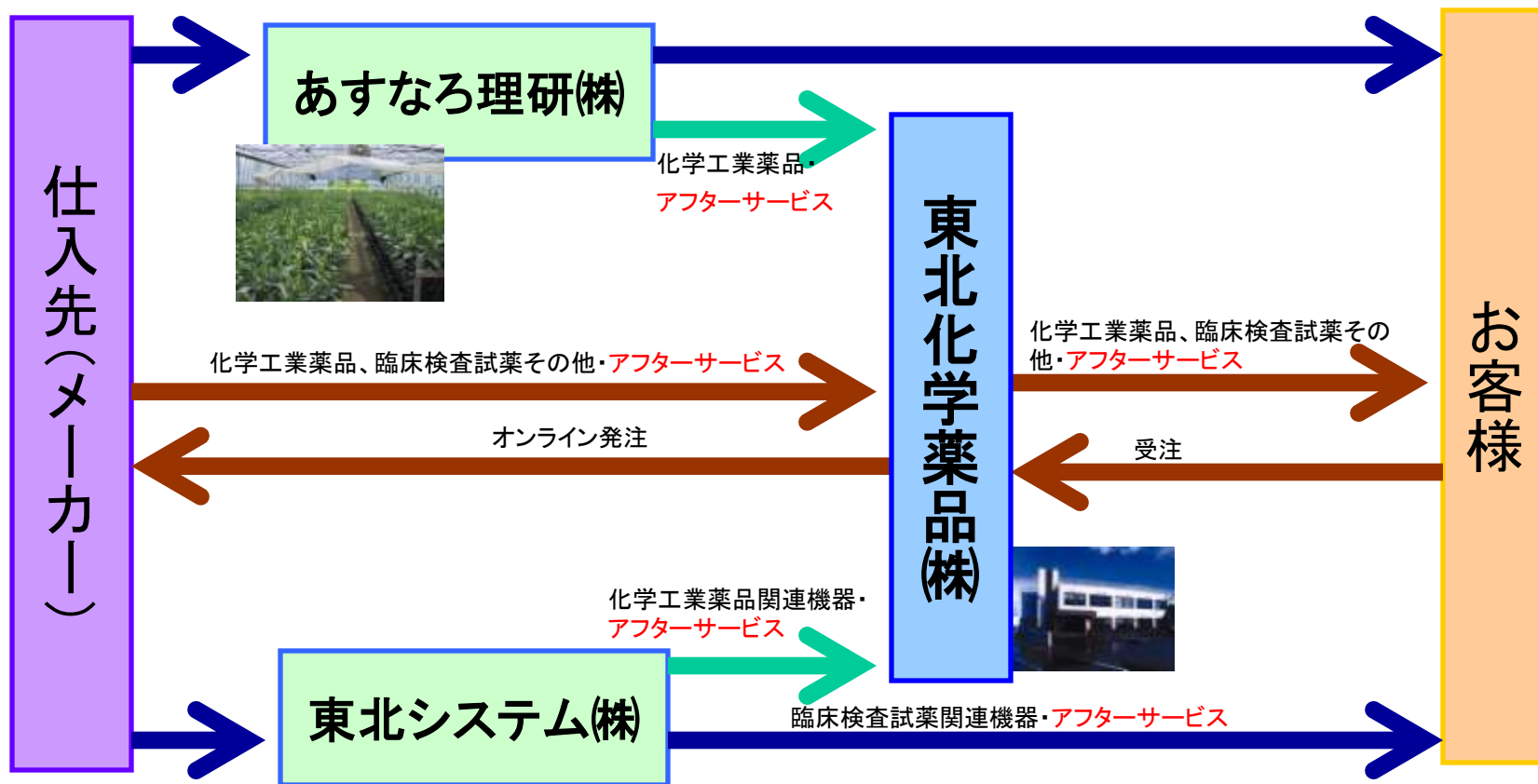
各事業所

高品質なサービス・商品提供

バイオ系営業活動支援
学術情報収集・提供

遺伝子発現解析

企業集団の系統図



2007年9月期業績目標

売上高 : 200億円

経常利益 : 5億円

2007年9月期経営指標目標

ROE : 7%



Chemical industrial medicine



Clinical examination reagent



Food



Agricultural materials

2004年9月期中間決算の実績及び 2004年9月期の業績見通しについて

第二部

連結損益計算書

(単位:百万円)

	2003年9月期 中間決算	2004年9月期 中間決算	増減比較 (%)	変動要因
売上高	8,872	8,539	△ 3.8	化学工業薬品 △88 臨床検査試薬 △259
売上原価	7,785	7,529	△ 3.3	
売上総利益	1,086	1,009	△ 7.1	
販売費及び一般管理費	846	846	0.0	生命システム情報研究所の費用 35
営業利益	240	162	△ 32.2	
経常利益	253	169	△ 33.1	
当期純利益	126	70	△ 44.1	投資有価証券評価損 前期損益修正損

連結貸借対照表 (資産の部)

(単位:百万円)

	2003年9月期 中間決算	2004年9月期 中間決算	増減比較 (%)	変動要因
流動資産	5,777	5,631	△ 2.5	
現金及び預金	548	516	△ 5.9	
受取手形及び売掛金	4,571	4,454	△ 2.6	
たな卸資産	616	618	0.4	
その他	27	16	△ 39.5	
固定資産	2,713	2,862	5.5	
有形固定資産	1,930	1,911	△ 1.0	
無形固定資産	8	12	48.2	
投資その他の資産	774	939	21.3	投資有価証券 +156
総資産	8,491	8,494	0.0	

連結貸借対照表 (負債・資本の部)

(単位:百万円)

	2003年9月期 中間決算	2004年9月期 中間決算	増減比較 (%)	変動要因
流動負債	4,399	4,303	△ 2.2	
支払手形及び買掛金	4,126	4,049	△ 1.9	
その他	119	133	11.0	
固定負債	189	176	△ 6.9	
資本金	753	753	0.0	
資本剰余金	814	814	0.0	
利益剰余金	2,305	2,337	1.4	
その他	29	109	272.7	その他有価証券評価差額金 +80
総資産	8,491	8,494	0.0	

キャッシュ・フロー

(単位:百万
円)

	2003年9月期 中間決算	2004年9月期 中間決算	増減比較 (%)	変動要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	862	332	△ 61.5	前年同期を比較して、売上債権の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 25	△ 35	△ 37.7	前年同期同様、設備投資抑制
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 589	△ 100	82.9	前年中間期に借入金返済520あり
現金及び現金同等物の増加額又は減少額	247	196	△ 20.8	
現金及び現金同等物の期首残高	295	315	6.6	
現金及び現金同等物の期末残高	543	511	△ 5.9	

セグメント別業績
(2004年9月期中間決算)

(単位:百万
円)

	化学工業薬品部門	臨床検査試薬部門	その他部門
売上高	4,911	2,759	868
売上総利益	541	352	116

2004年9月期の業績見通し

(単位:百万
円)

	2003年9月期 決算	2004年9月期 決算見通し	増減比較 (%)	変動要因
売上高	17,343	17,200	△ 0.8	化学工業薬品 +289 臨床検査試薬 △512
売上原価	15,268	15,200	△ 0.4	
売上総利益	2,074	2,000	△ 3.6	
販売費及び一般管理費	1,708	1,710	0.1	生命システム情報研究所の費用 70
営業利益	366	290	△ 20.9	
経常利益	392	315	△ 19.6	
当期純利益	189	140	△ 25.9	

2004年9月期のセグメント別業績見通し

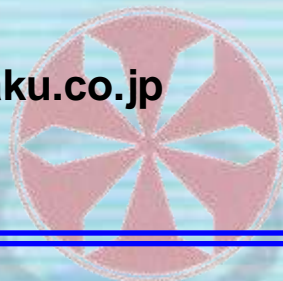
(単位:百万
円)

	化学工業薬品部門	臨床検査試薬部門	その他部門
売上高	9,600	5,500	2,100
売上総利益	1,010	750	240

IRに関するお問合せ先

東北化学薬品株式会社
経理部 経理課 課長 小寺 伸哉
電話: 0172-33-8101

e-mail: kodera@t-kagaku.co.jp



TOHOKU CHEMICAL

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。